# 湖西市循環型社会形成推進地域計画

# 湖西市

平成 29 (2017) 年 12 月

平成 30 (2018) 年 11 月変更

令和 2 (2020) 年 11 月変更

令和 3 (2021) 年 12 月変更

令和 4 (2022) 年 12 月変更

# 目 次

1	地域の	の循語	景型	社会	形	ずを	:推進するための基本的な事項	1
2	循環型	型社:	会形	成推	進(	のた	:めの現状と目標	3
3	施策の	の内線	容					8
4	計画の	カファ	オロ	ーア	ッ	プと	:事後評価	16
< 添	付書類	>						
添付	書類 1	対	象地:	域図				17
添付	書類 2	目	標の	設定	に関	する	るグラフ等	18
添付	書類3	分	別区	分表				19
添付	書類 4	現	有処	理施	設の	概勇	要	20
様式	: 1 循	環型	社会	形成	推進	交付	付金事業実施計画総括表1	21
添付	書類 5	指	標と	人口	等と	の多	要因に関するトレンドグラフ	24
添付	書類 6	地:	域内	の施	設の	現》	兄と将来(位置図)	25
様式	: 2 循	環型	社会	形成	推進	交付	付金事業実施計画総括表2	26
様式	:3 地	域の	循環	型社	会形	成排	推進のための施策の一覧	27
参考	資料様	式 1	施	設概	要(	(マラ	テリアルリサイクル施設系)	28
参考	資料様	式 2	施	設概	要(	エネ	ネルギー回収施設系)	30
参考	資料様	式 5	施	設概	要(	最終	終処分場系)	31
参考	資料様	式 6	施	設概	要(	浄化	化槽系)	32
参考	資料様	式 8	計	画支	援概	要		34
添付	書類 7	浄	化槽	設置	整備	対象	象区域図	38
添付	書類 8	/\	ザー	ドマ	ップ	P		39

### 1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

◇ 構成市町村名 湖西市

◇ 人 ロ 60,306 人 (2017 年 4 月 1 日現在 外国人登録人口を含む) 参考として、対象地域図を添付資料 1 に示す。

### (2) 計画期間

本計画は、2018年4月1日から2024年3月31日までの6年間を計画期間とする。なお、目標の達成状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

### (3) 基本的な方向

本市は、従前から一部事務組合でし尿を共同処理してきた旧新居町と、2010年3月 23日に合併し誕生した。

生活系ごみの収集体系は、合併による市民生活への影響を緩和するために、合併前の市域の湖西地区と旧新居町の新居地区それぞれで合併前の体系を基本的に維持している。ただし、分別区分・方法については統一が完了している。

合併前の湖西市においては、旧雄踏町、旧舞阪町とともに可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ等すべての一般廃棄物の共同処理を実施し、湖西市環境センター(焼却炉・リサイクルプラザ)及び笠子最終処分場を運営していた。旧雄踏町及び旧舞阪町の浜松市への合併による共同処理解消に伴い、可燃ごみ量の予測から、2010年10月から浜松市に可燃ごみ処理を委託している。委託以後、循環型社会形成推進基本法における3R(Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再生利用))の考え方を推進し処理委託料の軽減に努めてきた。2024年1月末に浜松市への可燃ごみ処理委託期間が終了するため、焼却施設を整備し可燃ごみの焼却処理を再開する。焼却再開手法についてはストックマネジメントの考え方を重視し、既存施設に対して基幹改良工事を実施し再稼動させる。焼却再開後も3Rを推進し、ごみの減量、再生利用及び適正処理を目指す。

事業系ごみについては、小規模事業所が多いことから、生活系ごみとの区分を徹底 するとともに発生抑制・再生利用の推進を図る。

生活排水処理は、環境保全に対する市民の関心が高まる状況において、浜名湖等の豊かな水環境を将来にわたり維持していくため、公共下水道事業等の拡充及び接続率の向上、くみ取り便槽及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を進め、環境への負荷低減を図る。

### (4) ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況について

静岡県ごみ処理広域化計画(1998年3月静岡県策定)において、本市は西北遠広域処理圏域として、浜松市及び浜松市と合併した市町村と共に広域処理圏域を構成している。浜松市に合併した旧舞阪町・旧雄踏町と共に1998年より共同処理を実施ししてきたが、2005年に旧舞阪町・旧雄踏町が浜松市と合併したことに伴い共同処理が解消され、逆に本市の可燃ごみの処理を浜松市に委託した。一方、不燃ごみや資源ごみの処理については、連携の議論が進まないまま、2017年時点においては、浜松市へ可燃ごみ処理のみを委託している。

2024 年1月末日に浜松市への可燃ごみ処理委託期間が終了するため、2016 年度から 2017 年度にかけて、焼却施設の在り方及び本市のごみ処理の今後の方向性について検討した。

その結果、委託処理より本市でごみ処理施設を所有しごみ処理を行う方が、地震や水害のような災害が発生した際に市内で発生したごみを自家処理できること、安定したごみ処理を可能にすることで住環境の利便性が上がるといった優位性が認められ、種々の廃棄物を複合処理することにより経済的メリットも得られるとの結論に至った。さらに、本市が推進している職住近接の観点も踏まえた結果、本市では自前処理を進めることとした。

今後のごみ処理の広域化・施設の集約化については、ストックマネジメントの考え 方を尊重し既存施設の有効活用の中で、現状のごみ処理施設の稼働期間中に検討を行 う。

#### (5) プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

現在、市内で発生するごみのうち、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する 法律第33条第2項第1号に規定するプラスチック容器包装廃棄物及びそれ以外のプ ラスチック使用製品廃棄物の両方(以下、「プラスチック資源」)については、湖西市 環境センターへ搬入された後に選別、圧縮を行い、適正に処理している。

当市におけるごみ処理の現状として、可燃ごみの処理を浜松市へ委託している一方で不燃ごみやプラスチックごみを含めた資源ごみは湖西市で処理している。

2024 年1月末日に浜松市への可燃ごみ処理委託期間が終了するため、2016 年度から 2017 年度にかけて、焼却施設の在り方及び本市のごみ処理の今後の方向性について検討した。その結果、現在休止している湖西市環境センター焼却施設の基幹的設備改良工事を実施し焼却施設を再稼働し、プラスチック資源は熱回収のために焼却する方針で決定した。その期間は、焼却施設が再稼働する 2024 年 2 月から 20 年間 (2044年 3 月末)を計画している。

2044年3月以降については、社会情勢や法整備の動向を踏まえて現状のごみ処理施

設の稼働期間中に検討を行う。

### 2 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 一般廃棄物等の処理の現状

2016年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図1のとおりである。

総排出量は、集団回収量も含め、20,326 トンであり、うち可燃ごみ量は 13,156 トンである。再生利用される総資源化量は 8,228 トン、リサイクル率 (= (直接資源化量+中間処理後の再生利用量+集団回収量) / (ごみの総収集量+集団回収量)) は 40.5%である。

中間処理による減量化量は11,007トンであり、集団回収量を除いた排出量の55.9% が減量化されている。また、同排出量の5.5%に当たる1,091トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は 12,534 トンであり、浜松市に委託し焼却処理 を行っている。また、焼却施設における余熱は発電、給湯及び冷暖房、温水プール等 で利用されている。

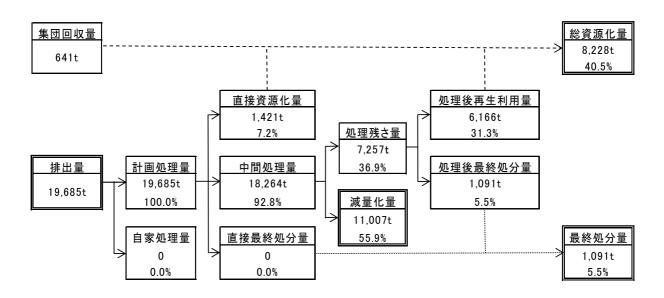


図 1 一般廃棄物の処理状況フロー(2016年度)

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

### (2) 生活排水の処理の現状

2016年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は図2のとおりである。 生活排水処理対象人口(総人口)は60,306人であり、生活排水処理人口は41,301 人、汚水衛生処理率(=生活排水処理人口(公共下水道+合併処理浄化槽の各人口) /総人口)は68.5%である。

浄化槽汚泥発生量は 27,627k1/年、し尿発生量は 2,072k1/年である。

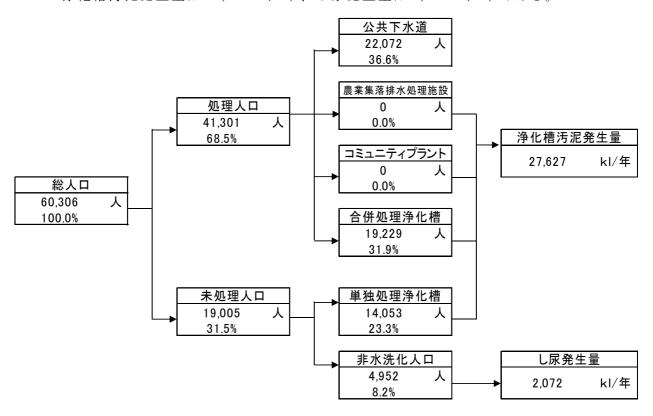


図 2 生活排水処理の処理状況フロー(2016年度)

### (3) 一般廃棄物等の処理の目標

計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め、循環型社会の実現を目指し、表 1 のとおり目標量を定め、それぞれの施策に取り組むものとする。

2024年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図3のとおり見込んでいる。

参考として、添付資料2に表1の内訳、添付資料5にごみ排出量の推移を添付する。

表 1 減量化、再生利用に関する現状と目標

	指 標 ・ 単 位	現状(割合※1) (2016年度)	目標(割合※1) (2024年度)	
	事業系 総排出量	4,923 トン	5,059トン (2.8%)	
	1事業所当たりの排出量※2	2.14トン/事業所	2.13トン/事業所 -(0.5%)	
排出量	生活系 総排出量	14,762 トン	13,985トン -(5.3%)	
	1人当たりの排出量※3	244 kg/人	244 kg/人 (0.0%)	
	合計 排出量合計	19,685 トン	19,044トン -(3.3%)	
7 4 N D B	直接資源化量	1,421トン (7.2%)	1,511トン (7.9%)	
再生利用量 	総資源化量	8,228トン (40.5%)	6,692トン (34.5%)	
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量)	4,867 MWh ※4	708 MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	1,091トン (5.5%)	1,884トン (9.9%)	

#### ※1 排出量は現状に対する割合

総資源化量は排出量と集団回収量の和に対する割合

その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量)={(事業系ごみの総排出量)-(事業系ごみの資源ごみ量)}/(事業所数)

事業所数:2016;2,305事業所(2016実績値)、2024;2,374事業所(2024推計値を採用)

※3 (1人当たりの排出量)={(生活系ごみの総排出量)-(生活系ごみの資源ごみ量)}/(人口)

計画収集人口:2016.10.1;60,493人(実績)、2025.3.31;57,367人(推計値)

※4 現状のエネルギー回収量は、浜松市の施設における発電量のごみ量按分

#### 《用語の定義》

排 出 量:事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。)[単位:トン]

再生利用量:集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位:トン]

エネルギー回収量:エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量[単位:MWh]

減量化量:中間処理量と処理後の残さ量の差[単位:トン]

最終処分量:埋立処分された量[単位:トン]

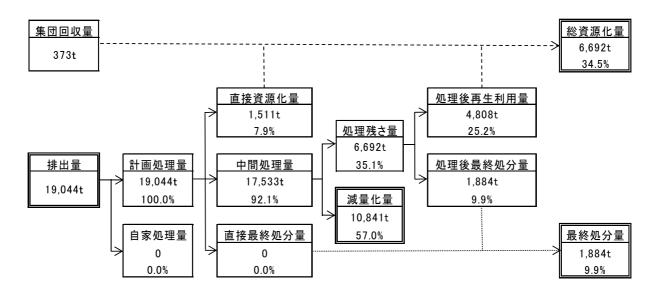


図3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー(2024年度)

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

### (4) 生活排水処理の目標

本計画の計画期間中においては、汚水衛生処理率の向上及び循環型社会の実現を目指し、表2のとおり目標量を定め、それぞれの施策に取り組むものとする。また、図4に目標達成時の生活排水処理状況フローを示す。添付資料5に処理形態別人口の推移を添付する。

表 2 生活排水処理に関する現状と目標

	2016年度	実績	2024年度目標		
	公共下水道人口	22,072 人	(36.6%)	28,533 人	(49.6%)
 	合併処理浄化槽等人口	19,229 人	(31.9%)	18,543 人	(32.2%)
处理形態別入口 	未処理人口	19,005 人	(31.5%)	10,493 人	(18.2%)
	合 計	60,306 人	(100.0%)	57,569 人	(100.0%)
	くみ取りし尿量	2,072 kl		1,752 kl	
し尿・汚泥の量	浄化槽汚泥量	27,627 kl		19,856 kl	
	合 計	29,699 kl		21,608 kl	

※表中の割合は、総人口に対する割合を示す。

※2024年目標値の合計人口は2024.3.31人口(推計値)で設定した。

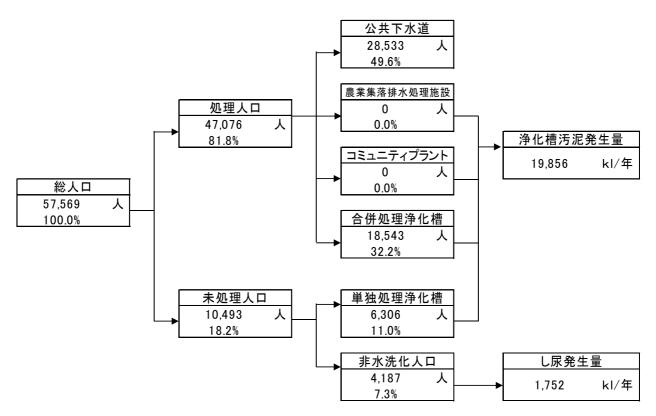


図 4 目標達成時の生活排水処理状況フロー (2024年度)

### 3 施策の内容

#### (1) 発生抑制・排出抑制・再使用の推進

#### ア 有料化 (ごみ処理手数料の徴収)

国は、ごみの排出抑制や再生利用の推進、ごみの排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を進めるため、ごみ処理の有料化を推進する考えを示している。本市においてはステーション回収における可燃ごみ及び不燃ごみ、直接搬入による粗大ごみ等の有料化を導入済みである。今後、排出量の増加の見込まれる資源ごみや剪定枝・草についても有料化を検討する。また、同様に手数料の見直しを実施する。

#### イ 環境教育、普及啓発

本市ではこれまで環境教育として、ごみの減量、再生利用及び適正処理の普及・ 啓発を目的に、「出前講座」を実施し3Rの推進を行ってきた。今後は引き続きご み問題の現状と課題について広く市民、事業者等に理解してもらうことを目的に出 前講座等の環境学習活動の施策の継続・強化を図っていく。

また、市民、自治会等が行っている廃棄物一時集積所 (ごみステーション) や資源物回収拠点の管理活動が今後も継続されるよう支援する。

#### ウ ごみ減量に関する助成

本市ではこれまで環境教育、普及啓発において、特に生ごみ消滅型容器キエーロの無償配布事業や生ごみ堆肥化容器購入補助事業について、重点啓発を実施してきた。今後も継続し、生ごみ減量を中心に市民への定着を図る。

### 工 生活排水対策

市民が行動に移すための動機付けとなる情報、広く市民に協力を求めるべき事項、 各種の補助・支援制度等について、広報誌やインターネット等を用いた情報発信を 今後も継続する。

また、市民運動としての「川や湖をきれいにする運動」への取組等により、水質保全の様々な啓発活動を支援する。

#### (2) 処理体制

#### ア 生活系ごみの処理体制の現状と今後

生活系ごみの分別区分及び処理方法については、表3のとおりである。

一般廃棄物の処理は、委託先である浜松市の可燃ごみ処理方法に従い分別を行っている。委託処理単価とリサイクル経費との比較で資源化を促進してきた。今後は

本市における可燃ごみ処理方針に基づいた処理体系を確立する。

現在、湖西地区及び新居地区で分別方法は統一済みであるが、びん、缶、ペットボトル等の資源類の収集方法に差異がある。また、一部の資源化作業においてストックヤードが不足し効率的な資源化処理が困難となっている。今後は分別の徹底を行い、より効率的な収集方法及び処理方法を検討し、安定的な処理継続を目指す。

可燃ごみについては、「湖西市と浜松市との間の一般廃棄物の処分に関する事務の委託に関する規約」に基づき、2010年10月から継続してきた処理委託が2024年1月末日に満了することから、自前処理を行うため、湖西市環境センターの焼却炉の再稼働に向け施設整備を実施する。焼却炉の整備に伴い、併設されるリサイクルプラザの延命化も実施する。

また、この施設整備を契機として、焼却形式により増大を余儀なくされる最終処分量の削減及び効率的な処理を目指し、不燃物の分別の徹底をはじめとする処理方法の見直しを行う。

さらに、安定的な最終処分の確保のため、次期地域計画で新たな一般廃棄物最終 処分場を整備するために必要な検討や設計等を実施する。

#### イ 事業系ごみの処理体制の現状と今後

現在、事業系ごみは、事業者が本市の許可した一般廃棄物収集運搬業者に収集を 委託するか、事業者が直接環境センターへ搬入している。事業者の排出する剪定 枝・竹・草の資源化の実施により、事業系ごみの総排出量としては増加傾向にある。

今後も同様の処理体制とし、廃棄物処理施設に搬入されたものは、生活系ごみと同様に適正処理と併せて、資源回収やエネルギー回収を進める。また、事業者の排出する剪定枝・竹・草については、資源化を行うとともに、引き続き減量化を指導し事業所による資源化システムの構築を目指す。

また、現在外部委託している衛生プラント脱水汚泥についても、焼却再開に伴い 自前処理を進める。

### ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

現在、産業廃棄物の処理を実施していないが、他市において下水道汚泥等の併せ 処理を行っている例があり、焼却施設の整備に伴い併せ処理を検討していく。

また、今後焼却施設の整備に伴う資源循環の拡大のために、生活系ごみと同等の 廃プラスチック類を中心に一般廃棄物処理施設で処理する可能性について、地域振 興のための事業者支援の視点から技術面、経済面等を考慮し幅広く調査、研究を行 う。

#### エ 生活排水処理の現状と今後

下水道整備区域における生活排水処理については、従来どおり下水道による処理 を推進し、さらに下水道供用開始区域において、接続率(水洗化率)の更なる向上 を図る。それ以外の区域においては、合併処理浄化槽による処理を行う。

合併処理浄化槽の設置については、合併前の湖西市は 1995 年度から、旧新居町は 1997 年度から、「合併処理浄化槽設置整備事業補助制度」を制度化して、閉鎖性 水域である浜名湖の生活排水対策を行ってきた。

合併後においても、「湖西市浄化槽設置整備事業」として従来どおり合併処理浄化槽設置の補助を継続している。また、特に生活雑排水が問題となっているくみ取り便槽及び単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への設置替えに補助金を上乗せするとともに、窒素除去能力の優れた高度処理型合併処理浄化槽設置を条件に補助を行い、積極的に生活排水の処理対策を推進する。

し尿・浄化槽汚泥の処理については、湖西市衛生プラントにより処理を行ってきた。2013年度から2016年度にかけての大規模改修工事が完了し、今後は将来のし尿・浄化槽汚泥収集量の推移及び性状変動を勘案して、施設の改造・補修等の経済的かつ効率的な施設運営について検討する。

#### オ 今後の処理体制の要点

今後の処理体制に係る要点は、次のとおりである。

- ◇現に不足している小型家電類の保管場所の確保及び分別細分化によるリサイクルの推進のため、旧環境センター跡地にストックヤードを整備する。
- ◇本計画期間においては、浜松市への可燃ごみ委託期間が満了する 2024 年 2 月 以降の可燃ごみ処理方法として、2010 年に休止した環境センターの焼却施設 の再稼動を計画しており、2021 年度から 2023 年度までの計画期間で基幹改良 工事を実施する。
- ◇焼却施設の基幹改良工事に併せて、併設されているリサイクルプラザの延命 化のため、基幹改良工事を実施する。
- ◆焼却施設の再稼働に伴い発生する焼却灰の最終処分を安定的に確保するため、新たな一般廃棄物最終処分場の整備に必要な検討や設計等を実施する。
  - ◇下水道が未整備の地域について、合併処理浄化槽の整備を推進する。
  - ◇生活雑排水の適正処理を進めるため、単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への 転換を促進する。
  - ◇高度処理型合併処理浄化槽の設置を推進する。

### 表 3 湖西市の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現状(2016年度)							
湖西市							
分別区分		処理 方法	処理施設等	処理実績 (トン)			
可燃ごみ	焼却	蒸気利用・ 発電	南部清掃工場(浜松市) 西部清掃工場(浜松市)	9,100			
不燃ごみ・粗大ごみ	複合	選別 破砕 焼却 埋立		1,588			
資源物 (びん)		選別破砕		332			
資源物 (缶・ペットボトル)		選別圧縮	湖西市環境センター (リサイクルプラザ)	298			
廃プラスチック	-	選別 圧縮		433			
剪定枝・竹・草	リサイクル	選別・破砕		1,549			
古紙·古布		売却		1,421			
白色トレイ		減容		13			
パソコン・携帯電話		選別	湖西市環境センター (リサイクルプラザ)	7			
乾電池•蛍光灯		選別		16			
天ぷら廃油		民間委託		5			

	今後(2024年度)							
湖西市								
	分別区分	Į.	<b>心理</b>	処理施設	処理施設等			
	万州区万	7	法	一次処理	二次処理	(トン)		
	可燃ごみ	焼却 (熱回収)	蒸気利用	湖西市環境センター (焼却炉)	(焼却灰) 笠子廃棄物処分場	8,439		
•	不燃ごみ・粗大ごみ	複合	選別 破砕 焼却 埋立		(可燃残さ) 焼却 (不燃残さ) 埋立 (金属等) 売却	1,367		
	資源物 (びん)	リ 選別 (リサイクルプラザ) サ 破砕		売却	307			
	資源物 (缶・ペットボトル)	イクル	選別圧縮		売却	262		
	廃プラスチック					401		
	剪定枝・竹・草 (ステーション回収分)	焼却 (熱回収)	蒸気利用	湖西市環境センター (焼却炉)	(焼却灰) 笠子廃棄物処分場	700		
	剪定枝·竹·草 (直接搬入分)	リサイク	破砕	湖西市環境センター (リサイクルプラザ)	売却	974		
	古紙·古布	ル	売却			1,524		
	白色トレイ	焼却 (熱回収)	蒸気利用	湖西市環境センター (焼却炉)	(焼却灰) 笠子廃棄物処分場	13		
	パソコン・携帯電話	IJ サ	選別	湖西市環境センター	売却	5		
	乾電池・蛍光灯	イク	選別	(リサイクルプラザ)	資源化	15		
	天ぷら廃油	ίν	民間委託			5		

### (3) 処理施設等の整備

### ア 廃棄物処理施設

7頁3(2)の処理体制を実現するために、表4のとおり必要な処理施設の整備を行う。

表 4 整備する処理施設

事業 番号	整備施設種類 施設名	事 業 名	規模等	設置予定地	事業 期間
1	マテリアルリサイクル推 進施設 (仮称) 湖西市環境セン ター ストックヤード	湖西市環境セン ターストックヤ ード整備事業	3, 000 m²	湖西市吉美	2020~2023
2	エネルギー回収推進施設 (先進的設備導入事業) 湖西市環境センター (焼 却炉)	湖西市環境センター基幹改良事業	102t/日	湖西市吉美	2021~2023
4	マテリアルリサイクル推 進施設(先進的設備導入 事業) 湖西市環境センター(リ サイクルプラザ)	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事	30t/5h	湖西市吉美	2021~2023
5	最終処分場 (仮称)湖西市新最終処 分場	最終処分場整備 事業	93, 000 m²	湖西市白須賀	2024~2030 ※次期計画

※ 参考として、添付資料4に現有施設の概要を添付する。

### (整備理由)

事業番号1 再生利用の推進

事業番号2 既存施設の老朽化、エネルギー回収推進、温室効果ガス排出量削減 (5%以上)

事業番号4 既存施設の老朽化、温室効果ガス排出量削減 (3%以上)

事業番号5 既設最終処分場の容量逼迫

### イ 合併処理浄化槽の整備

表 5 のとおり整備し、生活排水の処理を行う。

表 5 合併処理浄化槽への移行計画

事業番号	事業名	直近の整備済基数 (基) (2016 年度)	整備計画基数 (基)	整備計画人口	事業 期間
3	湖 西 市 浄 化 槽 設置整備事業	2, 798	948	2, 427	2018~2023

### (整備理由)

事業番号3 下水道計画区域外の汚水衛生処理率の向上及び単独処理浄化槽から合併 処理浄化槽への転換並びに高度処理型合併処理浄化槽の設置等の推進

### (4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表6のとおり計画支援事業を行う。

表 6 実施する計画支援事業

事業 番号	事 業 名	事業内容	事業期間
31	湖西市環境センターストックヤード整備事業 (事業番号 1) に係る発注仕様書作成等調査事 業	事前調査、発注仕様 書作成、基本設計等	2018~2022
32	湖西市環境センター基幹改良事業(事業番号2) に係る計画支援事業	PFI 導入可能性調査、 PFI アドバイザリー、 生活環境影響評価等	2018~2020
34	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事 (事業番号4)に係る計画支援事業	PFIアドバイザリー	2019~2020
36	(仮称) 湖西市新最終処分場整備事業(事業番号5)に係る計画支援事業	基本設計、地盤改良 工事実施設計	2023~2023

### (5) 廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表7のとおり長寿命化計画支援事業を行う。

表 7 実施する長寿命化総合計画策定支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
33	湖西市環境センター基幹改良事業に係る長寿命化 計画策定事業	長寿命化計画の作成	2018
35	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事に 係る長寿命化計画策定事業	長寿命化計画の作成	2019

### (6) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していくこととする。

#### ア 再生利用品の需要拡大事業

市民、事業者、市民団体、自治会、行政の協力体制のもとで、以下の取組を行う。

- ① 本市は自らの事業等において、資源の循環を推進するため、グリーン購入や 再生品活用を優先させる。
- ② 市民、事業者、市の三者の協力を基本として、インターネット等を利用した 不用品交換等の再生品利用を促進する。
- ③ リサイクル品の購入を促す手法についても調査・研究を行う。

#### イ 資源化処理の継続・推進

リサイクルプラザを中心に実施している資源化処理の推進継続を図るため、処理 の合理化を図るとともに安定継続のために費用対効果を検証し、需要や効率的なリ サイクル技術に即した資源化を念頭に以下の取組を行う。

- ① 剪定枝・竹・草のチップ化事業の効率化を行い安定実施する。
- ② 古紙・古布回収拠点について増設を検討する。
- ③ 焼却灰の有効利用方法の調査・研究を行う。

#### ウ 小型家電のリサイクルの普及・推進

小型家電のリサイクルについては、環境センターに搬入された小型家電の分別細分化を図るとともに、特定家庭用機器再商品化法に基づく適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店等と協力してリサイクルの普及啓発を行う。

### 工 不法投棄対策

不法投棄を防止するため、市民、県、警察及び愛知県豊橋市との連携を図り、不 法投棄の監視体制を強化するとともに未然防止に取り組む。また、不法投棄に対し て、適切かつ迅速な現状回復を推進する。

#### オ 災害時の廃棄物処理に関する事項

災害時に発生する廃棄物の処理は湖西市災害廃棄物処理計画に基づき行う。災害などにより一時的に市内あるいは広域内でのごみ処理等が不可能になった場合は、 災害援助協定に基づき、施設間の連携のもと適正処理を行う。災害援助協定に関して、以下の協定により協力体制をとる。 廃棄物に関する協定

・県内市町村との一般廃棄物処理に関する災害時の相互援助に関する協定

(2001年3月30日)

・災害支援協力に関する協定書(し尿運搬事業者3社)

(2017年6月9日)

その他一般的な災害協定

• 災害時相互応援協定書(長野県木曽町)

(2011年10月12日)

· 災害時相互応援協定書(宮城県登米市)

(2012年3月12日)

・災害時における相互応援に関する協定書(埼玉県蕨市)

(2012年8月30日)

• 災害時相互応援協定書(宮城県大和町)

(2014年3月11日)

・三遠南信災害時相互応援協定(愛知県東三河、静岡県遠州及び長野県南信州) (2014年11月1日)

また、災害時に発生する廃棄物の仮置場として、廃棄物処理施設の敷地をはじめ 適切な用地を確保するとともに民間廃棄物処理事業者との連携方法も研究する。

### 4 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

本市は毎年、計画の進捗状況を把握し、結果を公表するとともに、結果に対する意見交換を各関係者間で行いながら、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果を取りまとめ、計画の事後評価、 目標達成状況の評価を行う。

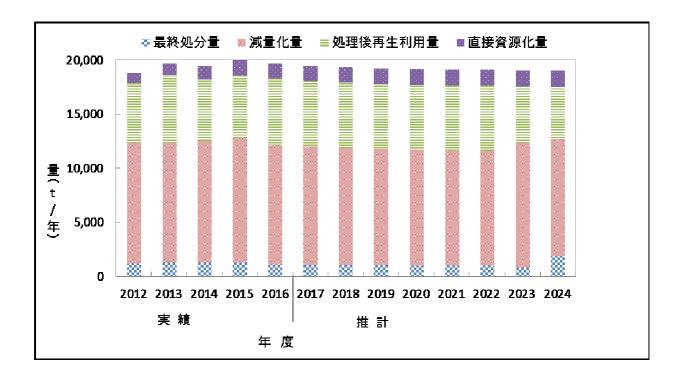
また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させる。なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直す。

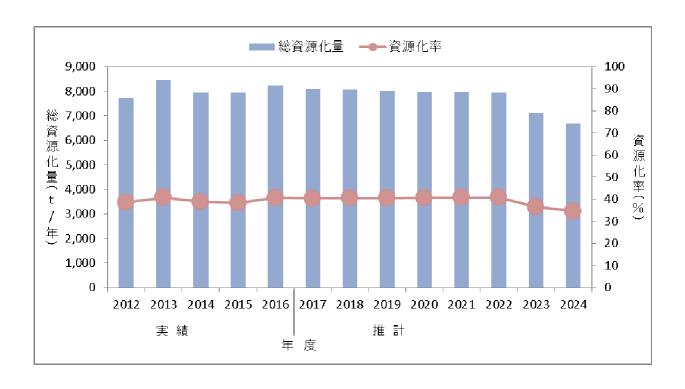
### 対象地域図



### 添付資料 2

### 目標の設定に関するグラフ等





# 添付資料3

# <u>分別区分表</u>

分 別 種 別	回収	方法
河 加 惺 加	湖西地区	新居地区
可燃ごみ	ステーション回収	ステーション回収
不燃ごみ	ステーション回収	ステーション回収
粗大ごみ	直接持込	直接持込
資源物		
びん	拠点回収	ステーション回収
飲料水缶	拠点回収	ステーション回収
ペットボトル	拠点回収	拠点回収
プラスチック類容器包装	拠点回収	拠点回収
白色トレイ	拠点回収	拠点回収
紙·繊維類	拠点回収	拠点回収
草・木、竹類	ステーション回収	ステーション回収
廃食油	ステーション回収	ステーション回収
パソコン、携帯電話等	拠点回収	拠点回収
その他		
乾電池	ステーション回収	ステーション回収
蛍光管	直接持込	直接持込

# 現有処理施設の概要

### 【焼却施設】

施設名称	施設形式	稼動年月	施設規模 (t/日)	1炉の能力 ( t /日)	炉数 (炉)	熱利用状況等
湖西市環境センター	全連続燃焼式	1998. 7竣工 2010. 11休止	120	60	2	休止中
(旧)湖西市環境センター	機械化バッチ式	1981.3竣工 1998.6廃止	60(t/16h)	30(t/16h)	2	廃止済み
新居焼却場	機械化バッチ式	1992.3竣工 2011.3廃止	25(t/8h)	12.5(t/8h)	2	廃止済み

### 【不燃・粗大・資源化施設】

施設名和	<b>Ť</b>	施設の種類	稼動年月	施設規模	処理方式
湖西市環境セ	ンター リ	サイクルプラザ	1998.7 竣工		引裂式破砕機 衝撃・せん断式破砕機

### 【最終処分場】

施設名称	埋立開始年	埋立期間	埋立面積 (m²)	全体容量 (m³)	埋立方法	水処理 (有無)
笠子廃棄物処分場 (一廃)	H2. 4	57年8ヶ月	14, 230	143, 575	セル&サンドイッチ工法	有
笠子廃棄物処分場(産廃)	H2. 4	45年5ヶ月	18, 540	198, 165	安定型	無
新居一般廃棄物処分場	S59. 4	50年	6, 555	81, 073	セル&サンドイッチ工法	有

### 【し尿処理施設】

施設名称	処理方式	稼動年月	施設規模 (kL/日)
湖西市衛生プラント	(主処理)標準脱窒素処理 (高度処理)凝集分離+砂ろ過+活性炭吸着	1963.11 竣工 2016.8 改修	92.3

### 様式1

### 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1 (2017年度)

1 地域の概要

(1)地域名 湖西市地域	(2)地域内人口	60,306 人	(3)地域面積	$86.56$ km $^2$
(4)構成市町村等名 湖西市	(5)地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪	山村 半島 過疎	その他
(6) 構成市町村に一部事務組合等が 含まれる場合、当該組合の状況				

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

				過去の状況・	現状(排出量に	対する割合)		目標
指標	・単位		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2024年度
		事業系 総排出量 (トン)	4, 898	4,628	4, 759	4,865	4, 923	5,059 (2016比 +2.8%)
		1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	2.04	1.93	1.97	2.06	2.14	2.13
排	出量	生活系 総排出量(トン)	14, 929	15, 086	14, 733	15, 109	14, 762	13,985 (2016比 -5.3%)
		1 人当たりの排出量(kg/人)	241	245	240	247	244	244
		合 計事業系生活系排出量合計(トン)	19,827	19,714	19, 492	19,974	19,685	19,044 (2016比 -3.3%)
田	生 利 用 量	直接資源化量(トン)	983 (5.2%)	1,088 (5.5%)	1, 252 (6.4%)	1,395 (7.0%)	1,421 (7.2%)	1,511 (7.9%)
1-1	工 们 用 里	総資源化量(トン)	7,722 (38.5%)	8, 463 (40.7%)	7, 936 (38.8%)	7,922 (38.2%)	8,228 (40.5%)	6,692 (34.5%)
エン	ネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量 MWh)	4,624	4, 996	4,601	4,831	4,867	708
減	量 化 量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	11, 172 (59.3%)	11,024 (55.9%)	11, 264 (55.9%)	11,578 (58.0%)	11,007 (55.9%)	10,841 (57.0%)
最	終処分量	埋立最終処分量 (トン)	1,186 (6.3%)	1, 317 (6.7%)	1, 269 (6.5%)	1, 264 (6.3%)	1,091 (5.5%)	1,884 (9.9%)

<sup>※</sup> 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。 (別添1)

3 一般廃棄物処理	施設の現況と更新、	廃止、新設の予定						
(1)現有施設リスト								
施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	開始年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	備考
リサイクルセンター	湖西市環境センター	湖西市	せん断式破砕機 回転式破砕機 減溶処理 選別	30t/5h	1998.7			
焼却施設	湖西市環境センター	湖西市	旋回流型流動床式焼却 炉 全連続式	120t/日	1998.7	2010.11休止		
焼却施設	(旧)湖西市環境センター	湖西市	ストーカ方式 機械式バッチ方式	60t/16h	1981.3	1998.6廃止	2022.3解体(予定)	
焼却施設	新居焼却場	湖西市	ストーカ方式 機械式バッチ方式	25h/8h	1992.3	2011.3廃止		
最終処分場	笠子廃棄物処分場	湖西市	サンドイッチ方式 (セル工法併用)	143,575 m³	1990.4			一般廃棄物
最終処分場	笠子廃棄物処分場	湖西市	安定型	198,165 m³	1990.4	2011.3廃止		産業廃棄物
最終処分場	新居廃棄物処分場	湖西市	サンドイッチ方式 (セル工法併用)	81,073 m³	1984.4	2022.12埋立終了予定 2024.12廃止予定		
し尿処理施設	湖西市衛生プラント	湖西市	(主処理)標準脱窒素処理 (高度処理)凝集分離+砂ろ過+活性炭吸着	92.3kL/日	1963.11 竣工 2016.8 改修			
(2)更新(改良)•新	設施設リスト							
施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工予定年月日	更新(改良)・新設理由	廃焼却施設の解体の有 無及び解体施設の名称	備考
リサイクルセンター	湖西市環境センター	湖西市	引裂式破砕機 衝撃・せん断式破 砕機	30t/5h	2023.3	既存施設の老朽化、温室効果 ガス排出量削減のための基幹 的設備改良	-	
焼却施設	湖西市環境センター	湖西市	旋回流型流動床式 焼却炉 全連続式	102t/日	2024.2	既存施設の老朽化、熱回収推 進、温室効果ガス排出量削減の ための基幹的設備改良	-	
最終処分場	(仮称) 湖西市新廃棄物 処分場	湖西市	サンドイッチ方式 (セル工法併用)	約93,000㎡	2030.11	焼却施設の再稼働等に伴う既 設最終処分場の容量逼迫	-	※次期地域計画で整備する施設だが、今期 計画期間中に計画支援を実施するため記載

### 4 生活排水処理の現状と目標

	<b></b> 年 度		過去の	<b>犬況・現状</b> (排	‡出量に対する	割合)		目標
指 標・単 位		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2024年度
総 人 口		61, 861	61, 486	61, 248	61,027	60, 628	60, 306	57, 569
公共下水道	汚水衛生処理人口	17, 818	18, 798	19, 674	20, 566	21, 122	22, 072	28, 533
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	28.8%	30.6%	32.1%	33. 7%	34.8%	36.6%	49.6%
合併処理浄化槽	汚水衛生処理人口	18, 282	18, 278	18, 235	18, 456	18, 882	19, 229	18, 543
等	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	29.6%	29.7%	29.8%	30. 2%	31.1%	31.9%	32. 2%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	25, 761	24, 410	23, 339	22, 005	20, 624	19, 005	10, 493

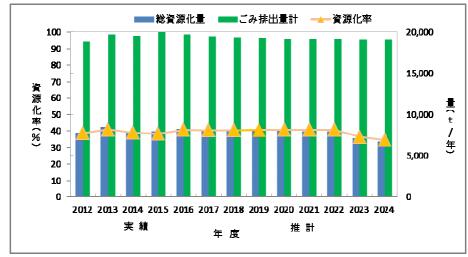
### 5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

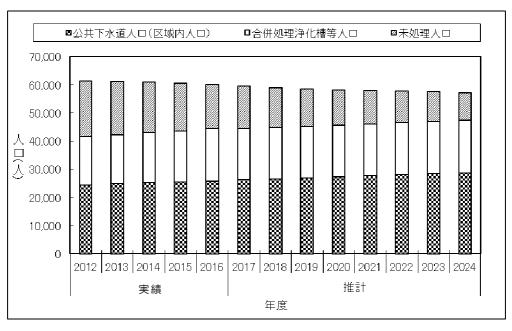
施設種別	事業主体	現有	施設の内容	<b>学</b>	整備予定基	備考		
一		基 数(基)	処理人口(人)	開始年月	基 数(基)	処理人口(人)	目標年度	1
浄化槽設置整備事業	湖西市	2,798	7,163	1995.4	948	2,427	2024	

添付資料5

### 指標と人口等との要因に関するトレンドグラフ

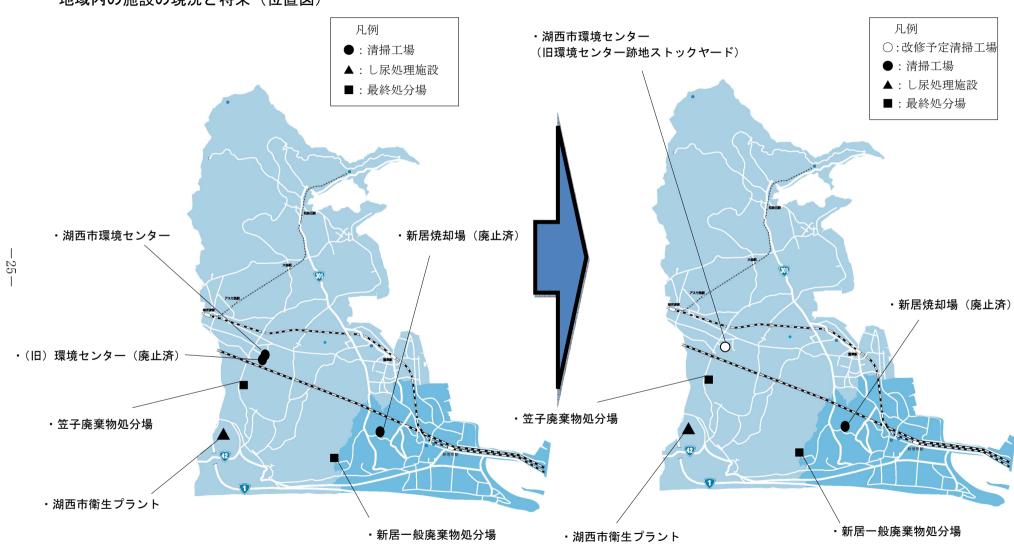






### 添付資料6

### 地域内の施設の現況と将来(位置図)



	ı
1	Ċ
(	7
	I

	事業種別	事業	事業主体	規	模	事業 交付	期間期間			総	事業費(=	F円)			交付対象事業費(干円)							
	事 業 名 称	番号 ※1	名 称		単位	開始	終了		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	備
マテ	・リアルリサイクル等に関する事業							1,095,984	0	0	60,090	376,673	185,314	473,907	1,012,705	0	0	57,113	341,937	166,783	446,872	2
	リサイクルセンター							787,345	0	0	0	150,113	185,314	451,918	712,788	0	0	0	121,122	166,783	424,883	3
	湖西市環境センターリサイクルプラザ 改良工事	4	湖西市	30	t/5h	2021	2023	787,345	0	0	0	150,113	185,314	451,918	712,788	0	0	0	121,122	166,783	424,883	3
	ストックヤード整備							308,639	0	0	60,090	226,560	0	21,989	299,917	0	0	57,113	220,815	0	21,989	,
	湖西市環境センターストックヤード整 備事業	1	湖西市	3,000	mî	2020	2023	308,639	0	0	60,090	226,560	0	21,989	299,917	0	0	57,113	220,815	0	21,989	,
エネル	ルギー回収等に関する事業							5,006,503	0	0	0	276,182	3,184,947	1,545,374	4,400,000	0	0	0	227,628	2,824,747	1,347,625	j
	湖西市環境センター基幹改良事業	2	湖西市	102	t/日	2021	2023	5,006,503	0	0	0	276,182	3,184,947	1,545,374	4,400,000	0	0	0	227,628	2,824,747	1,347,625	j
最終	処分に関する事業							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ol	)
	湖西市新最終処分場整備事業	6	湖西市	93,000	m	2024	2030	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ol	整備は 計画で
浄化	槽に関する事業							295,005	49,168	49,168	49,168	49,168	49,168	49,165	223,955	37,326	37,326	37,326	37,326	37,326	37,325	ě
	浄化槽設置整備事業	3	湖西市	948	基	2018	2023	295,005	49,168	49,168	49,168	49,168	49,168	49,165	223,955	37,326	37,326	37,326	37,326	37,326	37,325	è
施設	整備に関する計画支援に関する事業							81,161	7,400	24,253	18,353	0	1,155	30,000	81,161	7,400	24,253	18,353	0	1,155	30,000	)
	湖西市環境センターストックヤード整備(事業番号1)に係る計画支援事業	31	湖西市	-	-	2018	2022	6,379	1,000	4,224	0	0	1,155	0	6,379	1,000	4,224	0	. 0	1,155	0	)
	湖西市環境センター基幹改良(事業番号2)に 係る計画支援事業	32	湖西市	1	-	2018	2020	44,782	6,400	20,029	18,353	0	0	0	44,782	6,400	20,029	18,353	0	0	0	)
	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事 (事業番号4)に係る計画支援事業	34	湖西市	-	-	2019	2020	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	)
	湖西市新最終処分場整備事業(事業番号6)に 係る計画支援事業	36	湖西市	-	-	2023	2023	30,000	0	0	0	0	0	30,000	30,000	0	0	0	0	0	30,000	)
	物処理施設における長寿命化総合計画策定 する事業							12,341	7,000	5,341	0	0	0	0	11,529	6,480	5,049	0	0	0	0	)
	湖西市環境センター基幹改良(事業番号2)に 係る長寿命化総合計画策定事業	33	湖西市	-	-	2018	2018	7,000	7,000	0	0	0	0	0	6,480	6,480	0	0	0	0	0	)
	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事 (事業番号4)に係る長寿命化総合計画策定事業	35	湖西市	ı	-	2019	2019	5,341	0	5,341	0	0	0	0	5,049	0	5,049	0	0	0	0	)
	合 計							6,490,994	63,568	78,762	127,611	702,023	3,420,584	2,098,446	5,729,350	51,206	66,628	112,792	606,891	3,030,011	1,861,822	,

# 地域の循環型社会形成推進のための施策の一覧

	事業			実施		期間期間	交付金			事業	計画			
施策種別	番号※1	施策の名称	施策の内容	主体	開始	終了	の要否	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	備考
	11	生活系ごみの有料化	ごみ処理手数料の変更、資源ごみ の有料化検討等を進める。	湖西市	2018	2023				基礎調査、	導入の検討			
発生抑制、 再使用の	12	環境教育、普及啓発	環境教育強化、イベントの開催、 人材育成等を進める。	湖西市	2018	2023				継続実施	施・強化			
推進に 関すもの	13	各種助成	集団回収の助成、生ごみ処理機購 入助成等を進める。	湖西市	2018	2023				継続実施	施・強化			
	14	生活排水の汚濁負荷削減	各種啓発活動により、生活排水の 汚濁負荷削減を進める。	湖西市	2018	2023				継続実施	施・強化			
	21	収集方法の変更	旧地区で進めてきたごみ回収方法 を、順次統合を進める。	湖西市	2018	2023				見直し	<ul><li>統合</li></ul>			
処理体制の 構築、変更に 関するもの	22	産業廃棄物との併せ処理 検討	下水道汚泥を中心に、一般廃棄物 処理施設で処理する可能性につい て、技術面等から調査・研究を進 める。	湖西市	2018	2023				基础	<b>調査</b>			
	23	生活排水処理の接続率向 上	下水道接続率の向上、合併処理浄 化槽による処理の増加。	湖西市	2018	2023				継続	普及			
	1	湖西市環境センタース トックヤード整備事業	資源化量の増大の目指すストック ヤードの建設を推進する。	湖西市	2020	2023	0			解体コ	1事		建設工事	
処理施設の	2	湖西市環境センター基幹 改良事業	休止中の熱回収を行う焼却処理施 設に先進的設備導入をする。ま た、二酸化炭素の削減 (5%以上) を図る。	湖西市	2021	2023	0					更新工事		
整備に 関するもの	3	浄化槽設置整備事業	汚水衛生処理率の向上、単独処理 浄化槽から合併処理浄化槽への転 換、高度処理型合併処理浄化槽の 設置等を進める。	湖西市	2018	2023	0			整備	- 設置			   
	4	湖西市環境センターリサ イクルプラザ改良工事	老朽化の進むリサイクルプラザに 先進的設備を導入する。また、二 酸化炭素の削減(3%以上)を図 る。	湖西市	2021	2023	0					更新工事		
	6	湖西市新最終処分場整備事業	最終処分場の建設を進める。	湖西市	2024	2030	0							整備は次期 計画で実施
	31	湖西市環境センタース トックヤード整備(事業 番号1)に係る計画支援事業	発注仕様書作成、施工管理等を進 める。	湖西市	2018	2022	0	解体事前調査	発注仕様書 作成		設	it it		
	32	湖西市環境センター基幹 改良(事業番号2)に係る 計画支援事業	PFI導入可能性調査、PFIアドバイザリー、生活環境影響評価、施工 監理を進める。	湖西市	2018	2020	0	導入可能性調査	PFIアド/ 生活環場	ベイザリー 世影響評価				
施設整備に 係る計画 支援に 関するもの	33	湖西市環境センター基幹 改良(事業番号2)に係る 長寿命化総合計画策定事 業	長寿命化計画の作成を進める。	湖西市	2018	2018	0	長寿命化計画作成						
	34	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事 (事業番号4)に係る計画 支援事業	PFIアドバイザリー業務を実施する。	湖西市	2019	2020	0		PFI7 K/	ベイザリー				
	35	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事 (事業番号4)に係る長寿命化総合計画策定事業	長寿命化計画の作成を進める。	湖西市	2019	2019	0		長寿命化計画作成					
	36	湖西市震災処分場整備事業(事業番号4)備の計画 支援事業	基本設計等を進める。	湖西市	2023	2023	0						基本設計	次期計画で も継続して 実施
	41	再生利用品の需要拡大事 業	再生利用の促進を図る。	湖西市	2018	2023				継続実施	施・強化			
	42	資源化処理の継続・推進	資源化処理の見直しを実施し、効率化及び安定化を図り拡大実施する。	湖西市	2018	2023				継続実	施・強化			
その他	43	廃家電のリサイクル	関連団体や小売店と協力して普及 啓発を実施するとともに、高品位 を中心に回収を実施する。	湖西市	2018	2023				継続実施	施・強化			
	44	不法投棄対策	住民、県、警察等との連携を図 り、不法投棄の監視体制の強化に 努める。	湖西市	2018	2023				継続実力	布・強化			
	45	災害時の廃棄物処理	災害時の廃棄物処理について各処 理施設の連携強化を進める。	湖西市	2018	2023				継続実	施・強化			

### 【参考資料様式1】

### 施設概要 (マテリアルリサイクル施設系)

### 都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市
(2) 施設名称	(仮称) 湖西市環境センター ストックヤード
(3) 工期	2020年度~2023年度
(4) 施設規模	約3,000㎡
(5)処理方式	保管
(6) 地域計画内の役割	再生利用推進
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有無無

### 「ストックヤード」を整備する場合

(8) ストック対象物	小型家電
-------------	------

#### 「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(9) 容器包装リサイクル	
推准施設の内訳	

### 「灰溶融施設」を整備する場合

|--|

(12) 事業計画額
------------

### 【参考資料様式1】

### 施設概要 (マテリアルリサイクル施設系)

### 都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市
(2) 施設名称	湖西市環境センター(リサイクルプラザ)
(3) 工期	2021年度~2023年度
(4) 施設規模	30t/5h
(5)処理方式	引裂式破砕機 衝撃・せん断式破砕機
(6) 地域計画内の役割	基幹的設備の改良により、施設の延命化及びCO2削減 (3%以上)
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有無無

### 「ストックヤード」を整備する場合

#### 「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(9) 容器包装リサイクル	
推進施設の内訳	

### 「灰溶融施設」を整備する場合

|--|

(12) 事業計画額
------------

### 【参考資料様式 2】

# 施設概要 (エネルギー回収施設系)

### 都道府県名 静岡県

	T
(1) 事業主体名	湖西市
(2) 施設名称	湖西市環境センター(焼却炉)
(3) 工期	2021年度~2023年度
(4)施設規模	処理能力102t/日(51t/日×2炉)
(5) 形式及び処理方式	形式:旋回流型流動床式焼却炉 処理方式:全連続式
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 有(発電効率 1.6%以上) ・ 無 2. 熱回収の有無 有(熱回収率 21%以上) ・ 無
(7) 地域計画内の役割	基幹的設備の改良により、施設の延命化及びエネルギーの高効率 回収、CO2削減(5%以上)
(8) 廃焼却施設解体 工事の有無	有無
「ごみ燃料化施設」を整備する場合	

|--|

### 「メタンガス化施設」を整備する場合

(10)バイオガス熱利用率	
(11)バイオガスの利用計画	
(12)事業計画額	5, 006, 503千円
(   Z ) 事 兼 計	5, 006, 503千円

# 施設概要 (最終処分場系)

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市
(2) 施設名称	(仮称) 湖西市新最終処分場
(3) 工期	2024年度 ~ 2030年 地盤改良工事: 2024年度~2027年度 度 本体工事 : 2028年度~2030年度
(4) 処分場面積、容積	総面積 131,976㎡ 埋立面積 約16,000 埋立容積 約93,000 ㎡
(5) 処分開始年度 及び終了年度	埋立開始 2030年度 埋立終了 2059年度(1期埋立地 15年間、2期埋立地 15年間を計 画)
(6) 跡地利用計画	災害発生時の廃棄物仮置場としての活用を計画している。
(7) 地域計画内の役割	適切かつ安定的な最終処分の実現に資する。
廃焼却施設解体工 (8)事 の有無	有

(9) 事業計画額 2,500,000千円
-----------------------

<sup>※</sup>当該施設整備は次期計画期間中に実施予定だが、計画支援は現行計画中に実施するため、参考として施設 概要を掲載する。

# 施設概要(浄化槽系)

### 都道府県名 静岡県

(1)	事業主体名	湖西市		
(2)	事業名称	浄化槽設置整備事業		
(3) 容	事業の実施目的及び内	生活環境を保全するために合併処理浄化槽の普及を図るものである(個人設置型)。		
(4)	事業期間	2018年度 ~ 2023年度		
(5)	事業対象地域の要件	第3(1)アの(カ)及び(キ)に規定する地域		
		交付対象事業費 223,955千円		
(6)	事業計画額	うち		
(0)		・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費		
		223, 955千円		

### ○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

### 【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 ( 人分)	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	468基( 1,198人分)	155, 376	97, 416	97, 416
6~ 7人槽	426基( 1,091人分)	176, 364	108, 468	108, 468
8~10人槽	54基( 138人分)	29, 592	18, 071	18, 071
11~20人槽	基( 人分)			
21~30人槽	基( 人分)			
31~50人槽	基( 人分)			
51人槽以上	基( 人分)			
浄化槽整備 効率化事業	台帳作成費			
費	計画策定等調査費			
合 計	948基(2, 427人分)	361, 332	223, 955	223, 955

【公共浄化槽等整備推進事業の場合】

【五六行に信号を開発を事業の勿日】					
区分	交付対基数 (人分)	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費	
5 人槽	基( 人分)				
6~ 7 人槽	基( 人分)				
8~10 人槽	基( 人分)				
11~15 人槽	基( 人分)				
16~20 人槽	基( 人分)				
21~25 人槽	基( 人分)				
26~30 人槽	基( 人分)				
31~40 人槽	基( 人分)				
41~50 人槽	基(  人分)				
51人槽以上	基( 人分)				
共同浄化槽	人槽 基( 人分) 人槽 基( 人分) 人槽 基( 人分)				
事務費					
浄化槽整備	台帳作成費				
効率化事業 費	調査費				
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	計画策定等調査費				
合 計	基(  人分)				

### 都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市
(2) 事業目的	湖西市環境センターに不足しているストックヤードを整備する。
(3) 事業名称	湖西市環境センターストックヤード整備事業(事業番号1) に係る計画支援事業
(4) 事業期間	2018年度~2022年度
(5) 事業概要	最終処分場整備に係る基本設計

(6) 事業計画額	6,379千円
-----------	---------

### 都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市			
(2) 事業目的	湖西市環境センター(リサイクルプラザ)の基幹的設備改 良工事を実施し長寿命化を図る。			
(3) 事業名称	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事(事業番号4)に係る計画支援事業	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事(事業番号4)に係る長寿命化総合計画策定事業		
(4) 事業期間	2019年度~2020年度	2019年度		
(5) 事業概要	湖西市環境センターの基幹改 良にかかるPFIアドバイザリー	湖西市環境センター(リサイクルプラザ)に係る長寿命化計画の作成		
(6) 事業計画額	_	5, 341千円		

### ※注

「湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事(事業番号4)に係る計画支援事業」は、次ページ「湖西市環境センター基幹改良(事業番号2)に係る計画支援事業」と一括発注の為、事業計画額は次ページに合計記載し、上表は「一」とした。

### 都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市		
(2) 事業目的	湖西市環境センター(焼却炉)の基幹的設備改良工事を実 施し長寿命化を図る。		
(3) 事業名称	湖西市環境センター基幹改 良(事業番号2)に係る計画支 援事業	湖西市環境センター基幹改 良(事業番号2)に係る長寿命 化総合計画策定事業	
(4) 事業期間	2018年度~2020年度	2018年度	
(5) 事業概要	湖西市環境センターの基幹 改良にかかるPFI導入可能性調 査、PFIアドバイザリー、生活 環境影響評価	湖西市環境センターに係る 長寿命化計画の作成	

(6) 事業計画額	4, 782千円	7,000千円
-----------	----------	---------

### ※注

「湖西市環境センター基幹改良(事業番号2)に係る計画支援事業」は、前ページ「湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事(事業番号4)に係る計画支援事業」と一括発注の為、事業計画額は合計額を記載し、前ページは「一」とした。

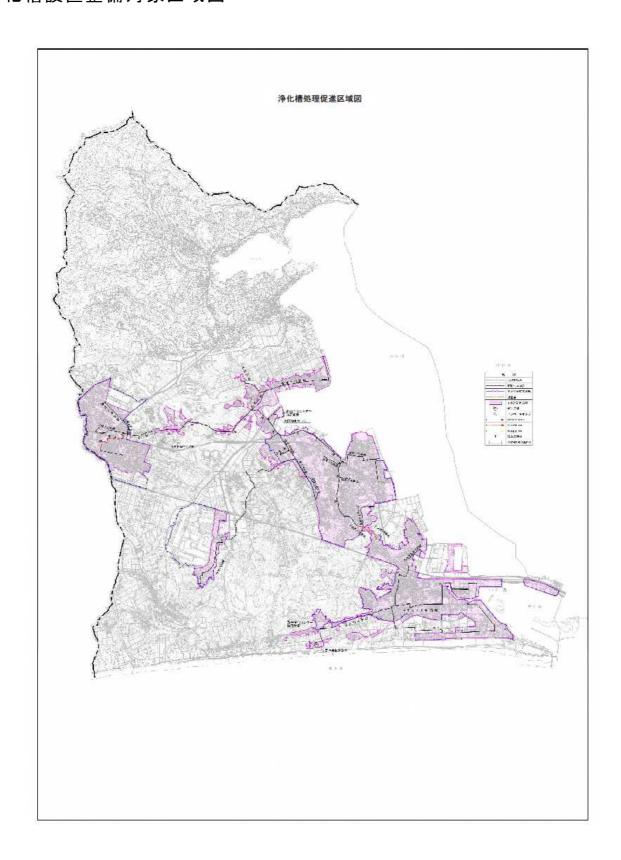
### 都道府県名 静岡県

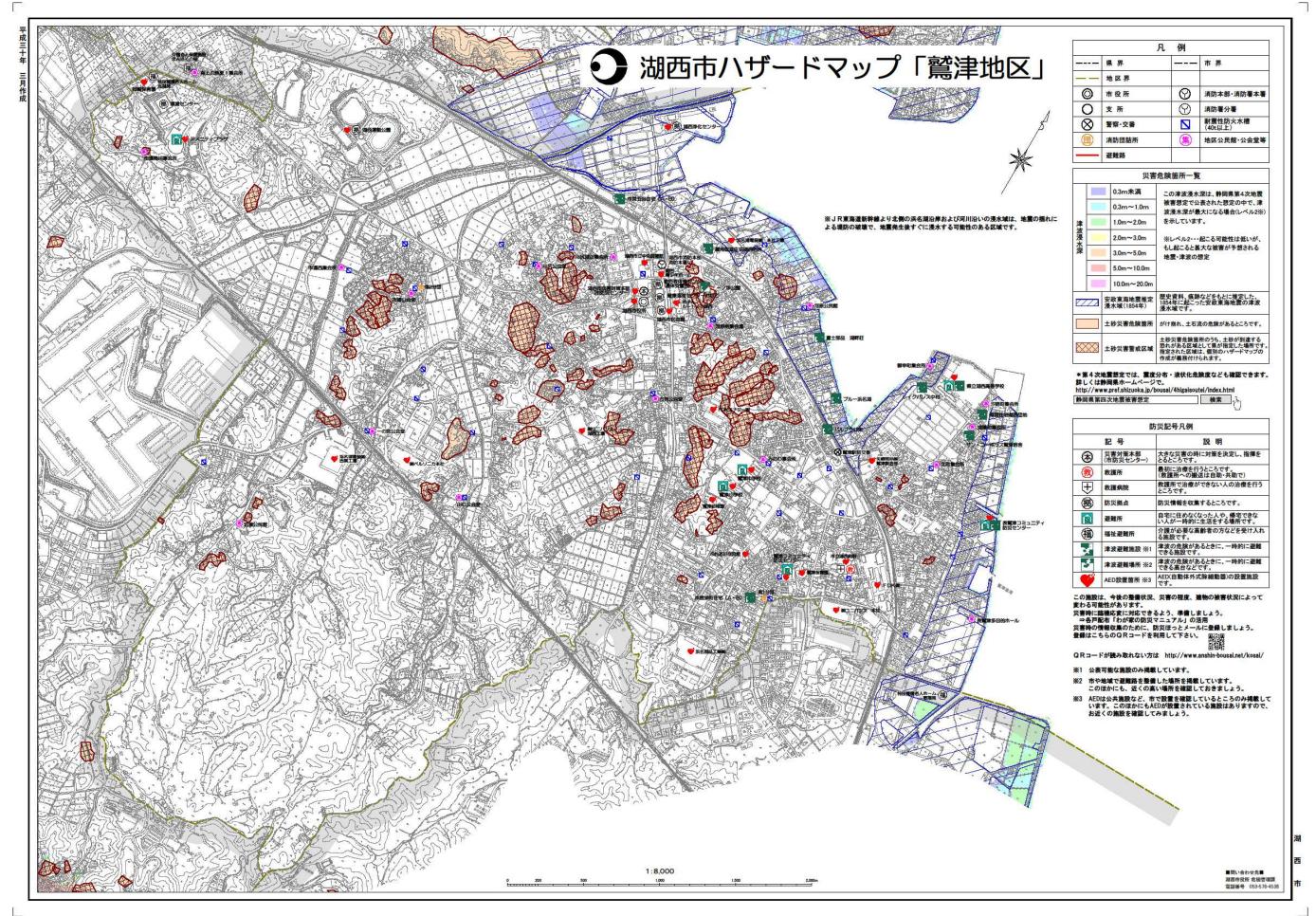
(1) 事業主体名	湖西市	
(2) 事業目的	新たな最終処分場を建設することで、適切かつ安定的な最終 処分の確保を図る。	
(3) 事業名称	湖西市新最終処分場整備事業 ( 業	(事業番号5) に係る計画支援事
(4) 事業期間	2023年度	【参考記載】 (次期計画) 2026年度~2027年度
(5) 事業概要	最終処分場整備に係る基本設 計及び地盤改良工事実施設計	【参考記載】(次期計画) 最終処分場整備に係る生活環 境影響調査、実施設計
		【冬老司卦】 (勿如乱雨)

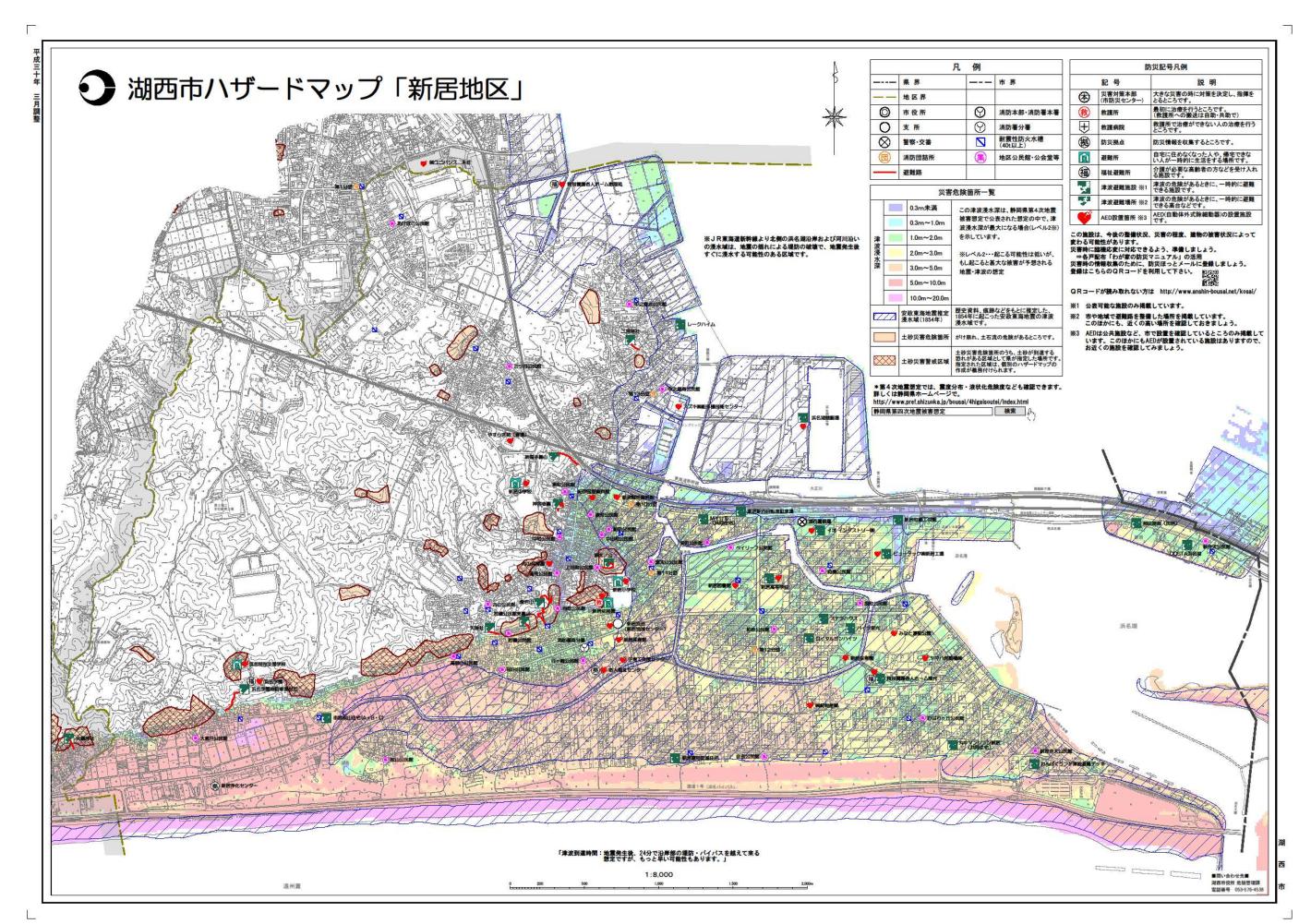
(6) 事業計画額 30,0	000 <del>+</del> +	【参考記載】 65,000千円	(次期計画)
----------------	--------------------	--------------------	--------

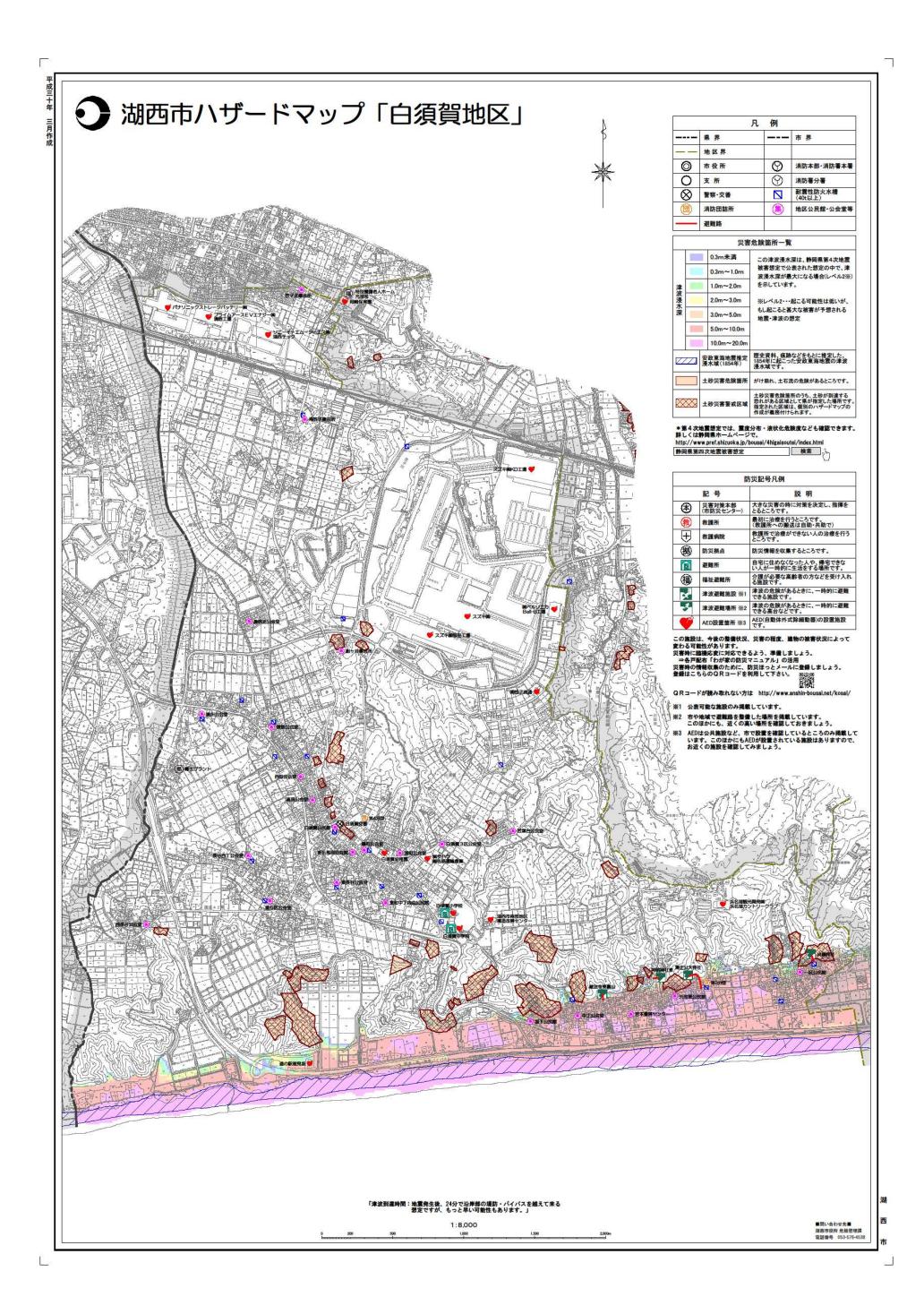
<sup>※</sup>次期計画期間中に整備する最終処分場の計画支援のため、参考に次期計画の内容も記載している。

# 浄化槽設置整備対象区域図









湖西市循環型社会形成推進地域計画

平成 29 (2017) 年 12 月 平成 30 (2018) 年 11 月変更 令和 2 (2020) 年 11 月変更 令和 3 (2021) 年 12 月変更 令和 4 (2022) 年 12 月変更

発行:湖西市環境部廃棄物対策課

TEL 053-577-1280

FAX 053-577-3253